

## 製品・サービス動向-国内

## ■HCNET：UC クラウドサービス「Virtual Workplace for Collaboration」を販売開始、電話・テレビ会議・スマートデバイス・Skype for Business・WebRTC に対応

(11月1日)

エイチ・シー・ネットワークス株式会社 (<http://www.hcnet.co.jp/>) (東京都台東区) は、UC のクラウドサービス「Virtual Workplace for Collaboration(略称：VW4C)」を販売開始。



## Virtual Workplace for Collaboration (HCNET)

VW4C は、ユニファイドコミュニケーションのクラウドサービス。スマートデバイスやパソコンなどさまざまなデバイスでコラボレーションができる環境を提供する。また既存のテレビ会議システムとの接続、Skype for Business、WebRTC の混在も可能となっている。1 会議あたり同時接続は最大 25 セッション、通信の暗号化や会議室のパスワード設定、主催者入室町の会議など各種セキュリティ機能を備えている。利用にあたってのライセンス体系は「ユーザ」と「ルーム」の 2 種類を提供する。

クラウドサービスのため契約後すぐにサービス利用

が可能。また導入前の検証にお試しライセンスもある。問い合わせ窓口は、同社営業本部営業企画グループ。

## ■サンワサプライ：多人数で Web 会議に最適な、スピーカーとマイクが一体型になった小型スピーカーフォン

(PRTIMES：11月13日)

サンワサプライ株式会社 (<https://www.sanwa.co.jp/>) (岡山市北区) は、多人数で Web 会議に最適な、スピーカーとマイクが一体型になった小型スピーカーフォン「MM-MC35」を発売。

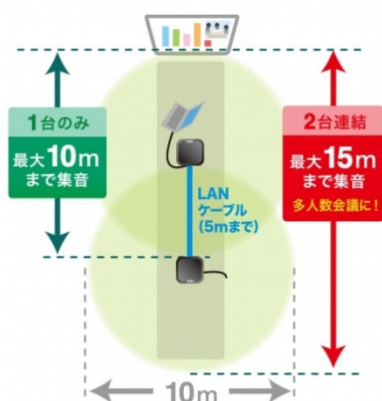


## MM-MC35 (サンワサプライ)

本体には高性能マイクユニット（無指向性）を搭載しており、約 5m 以内の広範囲の集音が可能で、市販の LAN ケーブル（5m まで）を使用することで 2 台まで連結可能となっている。連結することで最長約 15m までの集音が可能で、大人数の Web 会議にも対応する形となっている。

また優れたデジタル信号処理（DSP）により、ノイズが少なくクリアな音声での通話を実現する。加えて、エコーやハウリングを抑え、相手の声がクリアに聞こ

えるエコーキャンセル機能もついている。



2台連結で最大15mまで集音可能

### MM-MC35の集音範囲（サンワサプライ）

本体は持ち運びに便利なコンパクトサイズでありながら、スピーカーユニットを2台内蔵しており、音楽再生やプレゼン発表などの用途にも使用できるとしている。

なお、USB バスパワー駆動タイプで AC アダプタは不要となっている。標準価格は 31,320 円（税抜き：29,000 円）。

## ビジネス動向-国内

### ■アイスタディ：ビデオコンテンツマネジメントソリューション「QUMU（クム）」の導入社数が発売直後から直近半年間で倍増

（10月27日）

アイスタディ株式会社（<https://www.istudy.co.jp/>）（東京都品川区）は、同社のビデオコンテンツマネジメントソリューション「QUMU（クム）」の導入社数が発売直後から直近半年間で倍増したことを発表した。

近年、企業はテレワークの導入などによって働き方改革への対応を求められている一方で、従業員間のコラボレーションを高めることでの情報や知識の共有、

生産性の維持・向上も実現していかなければならないという課題を抱えている。

これらの課題に対して、QUMU は動画での円滑なコミュニケーションを実現し、経営者の意思伝達・ナレッジ・情報共有・研修・教育といった用途で今年に入り多くの企業において導入が進んでいるという。日々の業務に動画を活用することによって、同じ場所にいなくても、また移動中やすきま時間でも、メールや資料だけでは伝わらない雰囲気や間も含めて、情報を共有することができるため。

QUMU の特徴は以下の通り。

- （1）専門的な機材や知識が不要で、簡単にコンテンツを作成・編集・更新できるため、特定の人だけでなく全ての社員が情報を発信・共有できる。
- （2）高いセキュリティや内部統制への対応といった、エンタープライズに必要とされる高度なニーズを満たしている。
- （3）独自のキャッシュ技術によりネットワークへの負荷を軽減し、基幹業務に影響なく導入が可能となっている。
- （4）組織ごと人ごとに視聴権限の付与が可能で、企業が求める情報公開方法に対応している。

アメリカではモルガンスタンレーやドイツ銀行、AT&Tなどの多くの企業に、また国内ではIJ、富士通、トリドールホールディングスなど幅広い業界・業種の企業に導入されているという。用途としては、社内研修、教育、営業ノウハウの共有、店舗スタッフのトレーニングなどさまざまな活用がされている。

アイスタディは、ソリューションの提供を通じて働き方改革を実現し、研修、教育、ナレッジ共有などコミュニケーションをサポートすることで、企業の生産性向上に貢献していく考えだ。

※関連記事：定期レポート 2016年9月15日号（ブイキューブ、QUMU と提携）、2017年3月31日号（アイスタディ、QUMU 国内事業展開開始）

## ■パイオニア VC : i-Construction 推進コンソーシアムのマッチング技術として採用

(10月26日)

株式会社ブイキューブ（東京都目黒区）グループのパイオニア VC 株式会社 (<https://pioneer.vcube.com/>)（東京都品川区）は、i-Construction 推進コンソーシアムの技術開発・導入 WG が進める技術の活用可能性の検証に、同社の「xSync Prime Collaboration」および関連機器を提供し、10月25日より試行を開始したと発表。

i-Construction とは、国土交通省が 2017 年 1 月に設立し、調査・測量から設計・施工・維持管理までのあらゆるプロセスで ICT 等を活用し、建設現場の生産性向上を目指す産官学連携の組織。IoT、人工知能 (AI) などの革新的な技術の現場導入、3次元データの活用などを進めることで、生産性が高く魅力的な新しい建設現場を創出することを目的としている。

パイオニア VC は、i-Construction 推進コンソーシアム ([http://www.mlit.go.jp/tec/tec\\_mn\\_000008.html](http://www.mlit.go.jp/tec/tec_mn_000008.html)) の技術開発・導入 WG が主催するピッチイベントにおいて、行政および現場の「工事現場の可視化と遠隔地での確認」ができる技術ニーズに対して、遠隔ビジュアルコラボレーションツール xSync Prim を提案、マッチング技術として決定した。東北地方整備局管内の建設現場のうち、岩手県九戸郡野田村野田で試行を開始している。

現場では、定点カメラおよびウェアラブルデバイスを使い、現場と現場から離れた事務所の合計 3 拠点を遠隔で結び、xSync Prime を用いて施工状況をリアルタイムな映像で確認したりするなど、現場の可視化と効率化を進めている。

工事現場の可視化と遠隔地での確認という技術ニーズにおいては、現場監督・検査の負担軽減、施工状況の確認による工事事務抑制、施工体制の点検と施工実態の把握が、解決すべき喫緊の課題として挙げられて

いる。

技術を利用する現場および技術提供企業は、今回の試行を通じて新たな課題を抽出し、今後の技術開発に生かす予定という。

PR

(広告掲載順)

### ■ヤマハ株式会社

USB スピーカーフォン FLX UC 500

[https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/flx\\_uc\\_500/index](https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/flx_uc_500/index)

### ■株式会社ブライトコンパス

まだまだ使える綺麗な中古のテレビ会議システムが格安で手に入ります。

中古テレビ会議.com

<http://chuko-tv-kaigi.com?=cnar11152>

### ■株式会社ロジクール

MeetUp(ミートアップ)ー

ハドルルーム (4~6 名程度) に最適な、120 度の広い視野角と 4K 光学にも対応するオールインワンタイプのカンファレンスカム

<https://www.logicool.co.jp/ja-jp/product/meetup-conferencecam>

## セミナー・展示会情報

### <国内>

#### ■ブイキューブセミナー情報（11月～12月）

「働き方改革セミナー 失敗しない「Web会議」「テレビ会議」選び方徹底解説」「“従来比1/3のコストで導入できる”V-CUBE Box 体験セミナー」、「人事部長が語るテレワーク普及の勘所！ブラックでもホワイトでもない、ORANGEワークスタイ」など。

会場（東京・大阪・Webセミナー）

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

#### ■Surface Hub 実践活用術～社員同士のコラボレーションを促進して働き方の「質」を向上!～

日時：11月16日（木）10:00～12:00（開場9:45）

会場：日本マイクロソフト品川本社

主催：日本マイクロソフト株式会社

詳細・申込：

[https://www.microsoftevents.com/profile/form/index.cfm?PKformID=0x2680559abcd&wt.mc\\_id=AID624082\\_EML\\_5261978](https://www.microsoftevents.com/profile/form/index.cfm?PKformID=0x2680559abcd&wt.mc_id=AID624082_EML_5261978)

#### ■共創ワークソリューション Forum

日時：11月17日（金）13:00～17:00（受付12:30～）

会場：ベルサール飯田橋ファースト

主催：NEC ネットエスアイ株式会社

詳細・申込：<https://www.nesic.co.jp/topics/event/>

案内状：

<http://www.nesic.co.jp/topics/event/b8iddf00000019cm-att/>

※Zoom社CEO Eric S. Yuan氏の講演も予定されています。

#### ■Polycom Webinar：コンテンツがすべて

同時に複数のコンテンツを共有するソリューションをご紹介します！

日時：11月22日（水）10:00～

会場：Webinar（オンラインセミナー）

主催：ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込：

<http://response.polycom.com/01-APAC-JP-DR-PS-2017-Pano-Webinar-LP>

※Polycom Panoの紹介があります。

#### ■eラーニング国際開発ソリューションセミナー ～eラーニング海外活用！発展途上国でのeラーニング活用とその効果とは～

日時：11月24日（金）15:00～17:00（受付14:45）

会場：デジタル・ナレッジ eラーニング・ラボ秋葉原 1F

主催：株式会社デジタル・ナレッジ

詳細：<https://www.digital-knowledge.co.jp/archives/14136/>

※タイ、キルギスでのeラーニング市場の状況を紹介。

#### ■Surface Hub 実践活用術～社員同士のコラボレーションを促進して働き方の「質」を向上!～

日時：12月21日（木）16:00～18:00（受付15:45）

会場：日本マイクロソフト株式会社 品川本社

主催：日本マイクロソフト株式会社

詳細・申込：

[https://www.microsoftevents.com/profile/form/index.cfm?PKformID=0x2679723abcd&wt.mc\\_id=AID624082\\_EML\\_5261978](https://www.microsoftevents.com/profile/form/index.cfm?PKformID=0x2679723abcd&wt.mc_id=AID624082_EML_5261978)

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jpサイトの情報もご参照ください。

## 業界の動き

遠隔会議・UC業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事）ですが、CNAレポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。よろしければご参照ください。

#### ■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

#### ■Twitter（CNAレポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

#### ■メーリングリスト（dtc-forum）

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

## アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_report/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/)

>2014年-2017年：

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_ebook/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/)

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2017年11月15日号おわり

ホームページ: <http://cnar.jp> お問い合わせ: [cnar@cnar.jp](mailto:cnar@cnar.jp)